

平成 25 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,518,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,376	14,940	13,580	15,257	16,240
	移動児童館利用者数	1,071	1,432	1,009	1,539	1,746
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	24	32	30	37	43
	開館日数(単位:日)	151	156	151	157	152

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、児童厚生員2名、体育指導員1名(以上正規職員)、非常勤嘱託員2名 ③毎月のお便りを各小学校、幼稚園、公民館、地域の公園、健康センターなどに配布。児童館ホームページにも掲載。職員ブログでクラブや行事の様子を写真付きで掲載。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケートの要望に対する回答を館内に掲示
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施 ③裏紙使用による事務用品の節約、ペットボトルや牛乳パック等を利用した遊びの中でエコを再考している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②センター内の清掃や修理に関しても職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③を適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有を密にすることで、危機管理意識を高めている。 ②利用者と一緒に避難訓練を実施。地震・火災の場合の避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。独自に不審者や事故の対応マニュアル等を作成している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成26年2月21日から3月22日まで利用者アンケートを実施(無記名)
利用者アンケートの実施結果	<p>○児童センターのホームページブログについて(回答101人) 見たことがある67人(66%)、見たことがない23人(23%)、知ってはいはいるが見たことはない11人(11%)</p> <p>○「ROBOちゃんクラブ(2、3歳児対象)」、「ロボちゃんクラブ(1歳)」について(回答93人) 満足34人(37%)、ほぼ満足31人(34%)、やや不満0人(0%)、不満1人(1%)、参加したことがない28人(30%)</p> <p>○0歳児対象「スキップタイム」について(回答87人) 満足16人(19%)、ほぼ満足22人(25%)、やや不満2人(2%)、不満0人(0%)、参加したことがない47人(54%)</p> <p>○1歳児以上対象「ロボっ子タイム」出前児童館について(回答88人) 満足22人(25%)、ほぼ満足22人(25%)、やや不満0人(0%)、不満0人(0%)、参加したことがない44人(50%)</p> <p>○0歳児対象「びよちゃんタイム」について(回答81人) 満足16人(20%)、ほぼ満足22人(27%)、やや不満1人(1%)、不満0人(0%)、参加したことがない42人(52%)</p> <p>○保護者対象「リフレッシュ講座」について(回答83人) 満足10人(12%)、ほぼ満足7人(8%)、やや不満0人(0%)、不満1人(1%)、参加したことがない66人(79%)</p> <p>○保護者対象「なごみタイム」について(回答82人) 満足8人(10%)、ほぼ満足7人(9%)、やや不満1人(1%)、不満1人(1%)、参加したことがない65人(79%)</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>要望⇒対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレを増やしてほしい⇒市内の児童館・児童センターで順番に改修工事を行う予定です。 ・給茶機がほしい⇒夏場に設置します。 ・駐車場が増えるとよい⇒市に要望を出しております。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
		区分評価			S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人的育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>地域の子育て支援関係者との《子育てネットワーク》は、今年度も児童センターが主体となって開催した。主任児童委員、青少年育成市民会議、社会福祉協議会、保健などと連携をとることで、地域の子どもの様子を知り問題点と解決策を話し合った。昨年作成した子育てマップに、小児科や歯科など子どもに関する病院や公園を付け加え、より活用しやすいものにした。</p> <p>保護者向けのリフレッシュ講座《なごみタイム》では今まで毎週火曜日に行っていたが、曜日によって参加しにくいとの声があったことから、火曜日が休館の時には水曜日に行うようにした。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>昨年度までと同様、地域に出向いていく《おでかけ児童館》や《ロボッ子タイム》、母親クラブのサークルや留守家庭児童会への移動児童館は継続して行った。今まで参加していた長良西校区のイベントだけでなく、長良東校区のイベントにも参加し、今まで以上に地域の子育て支援団体との交流を深めることができた。</p> <p>また、10月、3月に行った児童センターのおまつりでは、地域の中学校や高校の協力で中学生、高校生もスタッフとして参加してくれ、大学生ボランティア、友遊クラブの小学生と共に事前のスタッフ会から参加をしてくれた。年齢の近い中高生スタッフと一緒に活動することで、小学生もよりボランティア活動を身近に感じ、異年齢交流を行うことが出来た。</p>
今後の取組み	<p>保護者のためのリフレッシュ講座時の託児がなかなか確保できないという現状があるので、地域の方など託児に協力して下さる方を探し、保護者のニーズに応えていきたい。</p> <p>昨年度も行った地域の子育て支援関係者との「ネットワーク会議」は、今年度も行う予定。</p>

●所管課の意見

<p>毎月のお勧め行事を地域の情報誌「ふれあいタイムス」に掲載したり、移動児童館でもアピールしたりするなど、広報活動を積極的に行っており、より良いサービスの提供に努めている。</p> <p>長良地区にある小・中学校、高校の校長で構成される長良学園都市の会議に所長が参加し、地域の問題や子どもの情報の交流を行っている。</p> <p>小学生で構成される「友遊クラブ」では、自分たちで野菜を育て、その野菜を使って白玉や豆腐を作るなど、食育や自然体験を行っている。また、地域のデイサービスを訪問して一緒にゲームや作業の手伝いをする中で、世代間の交流とボランティアの育成を行っている。</p> <p>12時から13時まで遊戯室限定で昼食をとることを可能とし、保護者が家にいない児童を応援している。</p> <p>母親のリフレッシュの時間を設けるため、小物づくりなど、簡単な製作活動を行う「なごみタイム」を毎月メニューを変えて開催し、保護者同士の交流の場を設けている。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>今日の児童館の役割をよく理解し、積極的に事業に取り組んでいる。</p> <p>小中学校・高等学校・ボランティアとの連携ができています。</p> <p>適正に管理運営されており、良好であると認められる。</p>
